

国語

6年

No. 3

月 日

組

番 前
名

1 上のことわざの意味を下から選んで線で結びましょう。

- (1) 情^{なさ}けは人のためならず ・ 心配はない
・ ふだんから備えておけば、いざというときに
- (2) 備^{そな}えあればうれしいなし ・ 人への親切は、いつか自分に良いこととなって
もどってくる
- (3) 油断^{ゆだん}大敵^{たいてき} ・ どれも同じくらいでとくにすぐれたものがない
- (4) どんぐりの背くらべ ・ ゆだんは失敗のもとである

2 □にあてはまる言葉を下から選んで()に書きましょう。

(使うのは一回のみ)

- (1) お茶が、もう半分()ない。
- (2) そんなうそ()信じない。
- (3) あのうわさは本当()しれない。
- (4) おなかがいっぱい、水()入らない。

など
しか
さえ
かも

3 次の漢字に共通する部首を下から選んで()に書きましょう。

- (1) 泳・漁() (2) 陸・階()
- (3) 組・織() (4) 針・鉄()
- (5) 笑・第() (6) 固・回()
- (7) 都・部() (8) 顔・頭()

いとへん・さんずい・たけかんむり・おおがい
くにかまえ・かねへん・おおざと・こざとへん

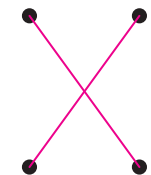
1 上のことわざの意味を下から選んで線で結びましょう。

(1) 情^{なさ}けは人のためならず
ふだんから備えておけば、いざというときに心配はない

(2) 備^{そな}えあればうれしいなし
人への親切は、いつか自分に良いこととなってもどってくる

(3) 油断^{ゆだん}大敵^{たいてき}
どれも同じくらいでとくにすぐれたものがない

(4) どんぐりの背くらべ
ゆだんは失敗のもとである



2 □にあてはまる言葉を下から選んで()に書きましょう。(使うのは一回のみ)

(1) お茶が、もう半分(**しか**)ない。

(2) そんなうそ(**など**)信じない。

(3) あのうわさは本当(**かも**)しれない。

(4) おなかがいっぱい、水(**さえ**)入らない。

など
しか
さえ
かも

3 次の漢字に共通する部首を下から選んで()に書きましょう。

(1) 泳・漁 (**さんずい**) (2) 陸・階 (**こざとへん**)

(3) 組・織 (**いとへん**) (4) 針・鉄 (**かねへん**)

(5) 笑・第 (**たけかんむり**) (6) 固・回 (**くがまえ**)

(7) 都・部 (**おおざと**) (8) 顔・頭 (**おおがい**)

いとへん・さんずい・たけかんむり・おおがい
くがまえ・かねへん・おおざと・こざとへん